



## 心と体を鍛える 厳誠流空手道厳誠塾高梁支部

厳誠流空手道厳誠塾高梁支部は、市内に高梁・川面・巨瀬の道場があります。この日(6月1日)は取材のために川面道場(川面小体育館)で合同練習をしてくれました。高梁5人、川面6人、巨瀬17人の計28人の塾生がそれぞれの道場で週1〜2回午後7時から2時間、練習に励んでいます。



つていき、中学生で黒帯に昇段する塾生もいます。

「小3の時に友だちがみんな習いごとをしていたので、僕も何かやろうとはじめました。練習はきつい時もあるけど、その分試合で結果が出たときは嬉しい」と藤森健汰くん(巨瀬小・5年生)。横見将也くん(高梁北中・2年生)は「中学の部活ではバレーボールをやっていますが、空手は、近所に道場があつて、見ていて格好よかったので小1の時からはじめました。みんなと一緒に練習できるから楽しいです」と話します。

支部長の森本修一さん(43)は、「空手は危険と隣り合わせ。試合はとても厳しいものですが、勝った時こそ負けた相手を思いやることができると教えています。子どもたちは空手を身につけることで自信を持ち、悪いことに対して悪いと主張でき、弱い者を助ける人に成長してほしい」と熱心に指導にあたっています。

5月8日に行われた中国大会(新見市民体育館)では入賞した塾生も多く、9月に東京で行われる全国大会には、延べ8人が出場します。



## 湯トマトへの情熱と誇り

中迫英典さん(61)・貞子さん(55) (備中町東油野)

# 貢献人

びと

受け入れ、自ら蓄積した栽培技術を指導。これまでに湯野地区と菅農王国「山光園※1」に計5人が定住しました。指導した研修生は延べ20人を超え、良き相談相手として人望も厚いようです。また、これからの農業経営を常に考え、省力化のため「隔離床養液栽培※2」という先進技術を導入するなど地域のモデル農家として尽力されています。

「新規就農者の受け入れで『縁』が生まれ、『人生の財産』ができました。彼らの力でトマト産地の『火』を守ってもらいたい。研修生が地域を支え、産地を背負っていってくれることに、うれしさと感謝の気持ちでいっぱい。これからも後継者の育成に力を入れ、新しい栽培方法にチャレンジします」とご夫婦は、意欲的に話します。



「本当にみなさんのおかげ。身にあまる思いです」と謙虚に話しながらも、「湯トマト」への思いは人一倍です。高齢化が進み後継者の育成確保が迫られる中、平成5年からは、県内外より新規就農者を率先して

※1 菅農王国「山光園」…旧備中町が、町の特産品であるトマト、ピオーネの後継者育成と規模拡大、また新規就農者・若者定住を目的として農地造成した施設で、平成15年8月開園。  
 ※2 「隔離床養液栽培」…プランターを使った栽培方法で、水と肥料はコンピュータ制御により点滴補給する土壌病に強い栽培方法。

# 学園だより



## 「キャンパス体験Day」6/18(土)、「オープンキャンパス」7/23(土)・24(日) 実施!

今年も吉備国際大学・順正短期大学・順正高等看護専門学校3校合同の「キャンパス体験Day」および「オープンキャンパス」が開催されます。毎年ご好評をいただき年々参加者が増加している学校見学会ですが、昨年はオープンキャンパスだけで2,086人(吉備国際大学:1,498人、順正短期大学:440人、高等看護専門学校:148人)ものご参加をいただきました。

当日は、学部・学科の内容説明はじめ、施設見学やミニ講義、各種相談コーナーなど盛りだくさんの企画をご用意しています。(当日ご参加の方で、アンケートに回答いただいた方にもれなく記念グッズをプレゼント!)

とくに、「キャンパス体験Day」では、夏休みを前に進路を決めかねている受験生の皆さんや、進路についていろいろ相談したい保護者の方々のお役に立てるよう「個別相談コーナー」を充実させて教職員一同お待ちしております。

なお、大勢の参加者が見込まれるため、高梁市民の皆さまには、なにかとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

### <キャンパス体験Day>

日時: 6月18日(土) 13時~16時(受付12時30分から)

\*事前申込は不要です。

受付: 吉備国際大学…吉備国際大学3号館玄関前

順正短期大学…順正短大9号館玄関

順正高等看護専門学校…順正高看玄関前

内容: 施設見学、学部・学科説明、ミニ講義、個別相談、保護者ガイダンスおよびAO面談など

### <オープンキャンパス>

日時: 7月23日(土)・24日(日)

11時~16時(受付10時30分から)

\*事前申込は不要です。

受付: キャンパス体験デーと同じです。

内容: 上記のほか、本校食堂を無料開放してキャンパスの味をお試しいただいたり、順正高看ではナース体験の記念写真を撮ってプレゼントしたり、いろいろな企画をご用意します。(詳しくは、決まり次第ホームページに掲載していきます。)

【問い合わせ先】高梁学園広報室 フリーダイヤル0120-25-9944 / e-mailアドレス:koho@kiui.ac.jp

### 編集後記

まるで「真夏」のような暑い日々。まだ6月なのに…市役所でも省エネルギー対策の一環でノーネクタイ・ノー上着での業務が始まりました。世間でいう「クーリング」(涼しく効率的に格好良く働く)ことができる夏の新しいビジネススタイル「環境省の推進です。今月号の人の紹介「貢献人」では、トマト産地の振興に多大な尽力をされた中迫さんの取材をさせていただきます。トマトといえば、採れたてを冷たい水でキツと冷やし、味塩を少々振りかけて「がぶり」と食べるのが最高(自論)です。市のトマト生産高(面積)は、

「第一ゲート通過!」と元気にゲートボールを楽しむ平川中央ゲートボール有志会の皆さん。老人会だけでなく、地域の人が誰でも気軽に参加できるように、団体名を「有志会」としたそうです。

現在、登録しているメンバーは68歳から96歳までの12人。練習は週2回と



## ゲートボールで健康づくり

平川中央ゲートボール有志会

代表 小林富男さん(75)

## わたしの健康づくり

決まっていますが、練習日以外の日でも練習しているという、ゲートボールが大好きな皆さん。

最年長の宮岡一夫さんは、「負けるばかりじゃ楽しくないから、みんなに負けないように頑張ってるよ。ゲートボールは楽しい」と話されます。

同会は、90代の方が3人おられ平均年齢の高い団体ですが、今年の備北地区老人会のゲートボール大会で好成績を修め、12月上旬に山口県で行われる中国大会に県代表として出場します。

代表の小林さんは「ゲートボールは年齢制限もなく誰でも参加できるし、頭の体操にもなる。試合となるとチームワークや作戦が大切。メンバーとの親睦を深めながら、健康づくりもできて一石二鳥だよ。次の大会にむけて頑張っています」と話されます。



県ナンパーワン。西日本有数の産地です。わが家にも、ご近所から借りた2畝はかりの畑があります。妻は、数年前に家族で参加した「まるごと農業体験」農林課の事業をきっかけにして、土作り・野菜作りにはまっています。草の生い茂った雑種地が今では立派な畑に。休みの朝はまず畑へ。3人の子どもたちも、土まみれになって収穫の喜びを感じているようで、その姿を見ているだけでほのほします。楽しみながら行う無農薬の野菜づくりです。わが家での畑いじりや農業関係の取材をとおして、農業の大変さやその重要性を改めて感じたところです。(KN)